

平成26年度 板倉町社会福祉協議会基本方針・目標・計画

— 基本方針 —

少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴い、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、家族力の低下及び地域連帯感の希薄化につながりました。さらに経済情勢や雇用環境の厳しさの長期化も相まって、社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得者の問題、権利擁護の問題など、高齢化率26パーセントを超えた本町においても、暮らしの中の様々な生活課題は多様化し深刻化してきています。このような中で、「安心して暮らせる町づくり」を使命とする社会福祉協議会には、地域福祉の課題を受け止め、その解決に向けた取り組みが求められていると考えます。

このため社会福祉協議会は、地域住民活動やボランティア活動の活性化を図るとともに支援強化し、在宅福祉サービス事業と連携させながら、地域に密着した地域福祉サービスの提供に努めてまいります。

財政面では、自主財源である会費や共同募金の理解・協力につながるよう、広報紙等を活用するなどして本会事業のPRに努めるとともに、限りある資金を有効に活用するため各事業の課題を整理・検討し、さらに新たな事業創出も視野に踏まえた地域福祉の充実・向上に努めます。

介護保険事業については、サービスを必要とする人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、質の確保・向上に取り組むとともに、経営努力を積み重ね、より安心で安定したサービスが提供できるように努めます。

また、老人福祉センター等施設の指定管理最終年度を迎え、これまでの実績等を踏まえて、より効率的で効果的な施設管理運営を行いながら、次期指定管理の受託に向けた取り組みに努めます。

以下の目標を掲げ、町行政をはじめ、福祉・保健・医療・教育等の関係機関との密な連携を図りながら事業を進めてまいります。

— 重点目標 —

1. 社会福祉協議会組織基盤の充実
2. 地域福祉活動の推進と充実
3. ボランティア活動の推進
4. 介護保険サービス・障がい福祉サービスの充実
5. 新社会福祉法人会計基準への適切な移行
6. 指定管理者制度による公設施設の円滑な管理経営

平成26年度 板倉町社会福祉協議会歳入歳出予算

収 入	
勘定科目	26年度予算額 (千円)
会費収入	4,135
経常経費補助金収入	33,826
受託金	56,203
貸付事業等収入	600
事業収入	8,730
負担金収入	7,972
介護保険収入	161,568
受取利息配当金収入	6
その他の収入	92
合 計	273,132

支 出	
勘定科目	26年度予算額 (千円)
人件費	168,030
事業費	69,524
事務費	23,339
貸付事業費	600
共同募金配分金事業	3,400
助成金	870
負担金	256
積立資産支出	7,113
合 計	273,132

平成26年度 実施計画

— 実施計画 —

1. 法人運営事業の推進

- (1) 本会の目的達成のための理事会、評議員会の開催
- (2) 健全な運営及び経営のための監査会の実施
- (3) 役員・評議員・職員の先進地視察研修
- (4) 職員の資質向上を目的とした計画的な研修の実施・組織体制の強化
- (5) 自主財源の確保・拡大

- (6) 関係機関・団体等との連携、協力体制の確立

2. 社会福祉活動の啓発宣伝

- (1) 社協だよりの発行（年4回）とホームページの更新
住民（会員）への社協活動の周知及び理解を図ると共に除法発信に努める。
- (2) 「いたくら福祉まつり」・「社会福祉大会」（仮称）の開催